

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 近畿財務局長

**【提出日】** 平成24年11月14日

**【四半期会計期間】** 第23期第2四半期(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

**【会社名】** ネクストウェア株式会社

**【英訳名】** Nextware Ltd.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 豊田 崇克

**【本店の所在の場所】** 大阪市中央区北久宝寺町四丁目3番11号

**【電話番号】** (06)6281 - 0304

**【事務連絡者氏名】** 代表取締役副社長 田 英樹

**【最寄りの連絡場所】** 大阪市中央区北久宝寺町四丁目3番11号

**【電話番号】** (06)6281 - 9866

**【事務連絡者氏名】** 代表取締役副社長 田 英樹

**【縦覧に供する場所】** 株式会社大阪証券取引所  
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第22期 第2四半期 連結累計期間	第23期 第2四半期 連結累計期間	第22期
会計期間		自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高	(千円)	1,379,793	1,376,667	2,958,682
経常損失( )	(千円)	59,523	91,483	9,043
四半期(当期)純損失( )	(千円)	43,475	83,487	30,694
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	48,463	85,063	26,350
純資産額	(千円)	495,985	433,035	518,098
総資産額	(千円)	1,421,100	1,502,688	1,524,300
1株当たり四半期(当期) 純損失( )	(円)	480.79	923.26	339.45
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)			
自己資本比率	(%)	31.7	25.4	30.4
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	150,075	35,283	117,487
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	15,693	67,691	33,481
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	63,467	62,770	38,852
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	352,254	363,993	404,198

回次		第22期 第2四半期 連結会計期間	第23期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益 又は四半期純損失( )	(円)	341.79	223.05

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第22期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

第23期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

第22期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復旧・復興需要の本格化等に伴い内需は堅調に推移しましたが、一方で、財政危機による欧州経済の停滞、米国並びに中国経済の減速等、世界全体の景気は不透明感が強まりました。今後は更に、世界経済の減速、円高の継続に加え対中関係悪化による輸出の減少等が国内経済の下方圧力となることが懸念されます。

当社グループの属する情報サービス産業におきましても、景気の先行き不透明感を受け、全般的にはエンドユーザーの情報化投資に対する慎重姿勢に変化は無く、投資の手控え及び外部委託の抑制等は依然として継続しております。

このような状況下におきまして当社グループは、既存顧客からの継続的な受注の確保と新規マーケットの開拓に努めるとともに、当社グループ保有のソリューション製品群の拡販を図ってまいりました。また、地方税等滞納整理・収納支援システム「CARATS」に続く自治体向けソリューションとなる小規模コールセンター業務支援システム「Speedy Call」や、ケーブルテレビ施設管理システムのクラウド化を実現した「Cadix-MapServer 2012」等の新製品もリリースいたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は1,376百万円（前年同四半期比0.2%減）、連結営業損失は87百万円（前年同四半期は72百万円の損失）、連結経常損失は91百万円（前年同四半期は59百万円の損失）、連結四半期純損失は83百万円（前年同四半期は43百万円の損失）となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は1,502百万円となり、前連結会計年度末に比べて21百万円減少しました。これは、受取手形及び売掛金（純額）が61百万円減少し、流動資産その他が25百万円増加したことが主な要因であります。

負債合計は1,069百万円となり、前連結会計年度末に比べて63百万円増加しました。これは長期借入金が147百万円、1年内返済予定の長期借入金が79百万円、流動負債その他が38百万円それぞれ増加し、短期借入金が140百万円、社債が24百万円、支払手形及び買掛金が23百万円、未払法人税等が13百万円それぞれ減少したことが主な要因であります。

純資産合計は433百万円となり、前連結会計年度末に比べて85百万円減少しました。これは、当第2四半期連結累計期間に83百万円の四半期純損失を計上したことが主な要因であります。

### (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ40百万円減少し、363百万円となりました。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は35百万円（前年同四半期は150百万円の収入）となりました。これは税金等調整前四半期純損失91百万円に、売上債権の減少額61百万円、その他の流動負債の増加額38百万円、減価償却費28百万円、仕入債務の減少額23百万円、その他の流動資産の増加額20百万円、たな卸資産の増加額16百万円、法人税等の支払額11百万円等を加減した結果によります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は67百万円（前年同四半期は15百万円の支出）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出39百万円、無形固定資産の取得による支出18百万円があったことによります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は62百万円（前年同四半期は63百万円の支出）となりました。これは短期借入金の純減額140百万円、長期借入れによる収入249百万円、社債の償還による支出24百万円、長期借入金の返済による支出21百万円があったことによります。

### (4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は2百万円であります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	304,800
計	304,800

##### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	96,070	96,070	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株制度を採用しておりませ ん。
計	96,070	96,070		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年9月30日		96,070		958,039		

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
ピー・シー・エー株式会社	東京都千代田区富士見 1 - 2 - 21	13,550	14.10
豊田 崇 克	兵庫県神戸市東灘区	10,115	10.53
有限会社ティ・エヌ・ヴィ	兵庫県西宮市大井手町 1 - 7	9,600	9.99
ネクストウェア取引先持株会	大阪府大阪市中央区北久宝寺町 4 - 3 - 11	5,890	6.13
ネクストウェア従業員持株会	大阪府大阪市中央区北久宝寺町 4 - 3 - 11	5,325	5.54
アセットシステム株式会社	兵庫県西宮市大井手町 1 - 7	2,224	2.31
東京海上日動火災保険株式会社	東京都千代田区丸の内 1 - 2 - 1	1,920	2.00
田 英 樹	兵庫県西宮市	1,815	1.89
太 田 万三彦	東京都葛飾区	1,673	1.74
梨 本 豊代美	静岡県静岡市清水区	1,347	1.40
計		53,459	55.65

(注) 当社は自己株式5,644株(発行済株式総数に対する所有株式数の割合5.87%)を保有しておりますが、当該株式については議決権がないため、上記の大株主から除外しております。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 5,644		
完全議決権株式(その他)	普通株式 90,426	90,426	
単元未満株式			
発行済株式総数	96,070		
総株主の議決権		90,426	

(注) 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が44株(議決権44個)含まれております。

## 【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) ネクストウェア株式会社	大阪市中央区北久宝寺町 4 - 3 - 11	5,644		5,644	5.87
計		5,644		5,644	5.87

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人だいちにより四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	442,700	441,502
受取手形及び売掛金(純額)	506,975	445,376
商品及び製品	266	8,425
仕掛品	6,128	14,992
原材料及び貯蔵品	366	326
その他	62,373	88,128
流動資産合計	1,018,810	998,751
固定資産		
有形固定資産	27,720	32,039
無形固定資産		
のれん	23,838	20,858
その他	125,524	120,391
無形固定資産合計	149,363	141,250
投資その他の資産	327,473	330,122
固定資産合計	504,557	503,411
繰延資産	931	525
資産合計	1,524,300	1,502,688
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	147,194	123,468
短期借入金	383,020	242,500
1年内返済予定の長期借入金	46,902	126,657
未払法人税等	20,598	7,428
その他	226,744	265,047
流動負債合計	824,459	765,100
固定負債		
社債	48,000	24,000
長期借入金	111,538	259,074
退職給付引当金	15,833	16,136
その他	6,370	5,341
固定負債合計	181,742	304,552
負債合計	1,006,201	1,069,652

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	958,039	958,039
利益剰余金	302,766	386,253
自己株式	191,276	191,276
株主資本合計	463,997	380,510
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	60	1,456
その他の包括利益累計額合計	60	1,456
少数株主持分	54,041	51,068
純資産合計	518,098	433,035
負債純資産合計	1,524,300	1,502,688

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
 【四半期連結損益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	1,379,793	1,376,667
売上原価	1,066,278	1,052,982
売上総利益	313,514	323,684
販売費及び一般管理費	386,006	410,867
営業損失( )	72,492	87,183
営業外収益		
受取利息	47	117
受取配当金	565	360
助成金収入	7,577	960
貸倒引当金戻入額	6,680	-
債務免除益	4,083	-
その他	683	1,053
営業外収益合計	19,637	2,491
営業外費用		
支払利息	4,822	5,802
その他	1,845	990
営業外費用合計	6,668	6,792
経常損失( )	59,523	91,483
税金等調整前四半期純損失( )	59,523	91,483
法人税、住民税及び事業税	4,110	4,274
法人税等調整額	15,753	9,298
法人税等合計	11,643	5,023
少数株主損益調整前四半期純損失( )	47,879	86,460
少数株主損失( )	4,404	2,972
四半期純損失( )	43,475	83,487

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失( )	47,879	86,460
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	584	1,396
その他の包括利益合計	584	1,396
四半期包括利益	48,463	85,063
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	44,059	82,090
少数株主に係る四半期包括利益	4,404	2,972

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失( )	59,523	91,483
減価償却費	29,173	28,250
のれん償却額	2,979	2,979
貸倒引当金の増減額( は減少)	46,733	-
賞与引当金の増減額( は減少)	6,740	-
退職給付引当金の増減額( は減少)	365	303
その他の引当金の増減額( は減少)	1,847	-
受取利息及び受取配当金	612	477
支払利息	4,822	5,802
売上債権の増減額( は増加)	277,701	61,598
たな卸資産の増減額( は増加)	11,625	16,982
仕入債務の増減額( は減少)	38,554	23,726
その他の流動資産の増減額( は増加)	103,140	20,422
その他の流動負債の増減額( は減少)	42,569	38,394
その他	115,693	350
小計	179,423	15,412
利息及び配当金の受取額	612	479
利息の支払額	5,956	6,944
法人税等の支払額	22,203	11,606
訴訟関連損失の支払額	1,800	1,800
営業活動によるキャッシュ・フロー	150,075	35,283
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	9,000	39,006
有形固定資産の取得による支出	2,564	8,622
無形固定資産の取得による支出	9,328	18,813
その他	5,198	1,249
投資活動によるキャッシュ・フロー	15,693	67,691
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額( は減少)	28,091	140,520
長期借入れによる収入	-	249,000
長期借入金の返済による支出	11,376	21,709
社債の償還による支出	24,000	24,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	63,467	62,770
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	70,914	40,204
現金及び現金同等物の期首残高	281,340	404,198
現金及び現金同等物の四半期末残高	352,254	363,993

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年9月30日)	
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	
当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。	
これによる、従来の方法と比べた場合の当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。	

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
投資その他の資産	1,300千円	1,300千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年9月30日)
給料及び手当	152,902千円	164,622千円
賞与引当金繰入額	133 "	- "
退職給付費用	6,480 "	6,981 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年9月30日)
現金及び預金	381,757千円	441,502千円
預入期間が3か月を超える定期預金	29,502 "	77,508 "
現金及び現金同等物	352,254千円	363,993千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

単一セグメントであるため、セグメント情報については記載しておりません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

単一セグメントであるため、セグメント情報については記載しておりません。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当社グループはデリバティブ取引を行っていないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純損失	480円79銭	923円26銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失(千円)	43,475	83,487
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純損失(千円)	43,475	83,487
普通株式の期中平均株式数(株)	90,426	90,426

(注) 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。



## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月8日

ネクストウェア株式会社  
取締役会 御中

### 監査法人だいち

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 岡 庄 吾 印

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 奥 山 博 英 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているネクストウェア株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ネクストウェア株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。